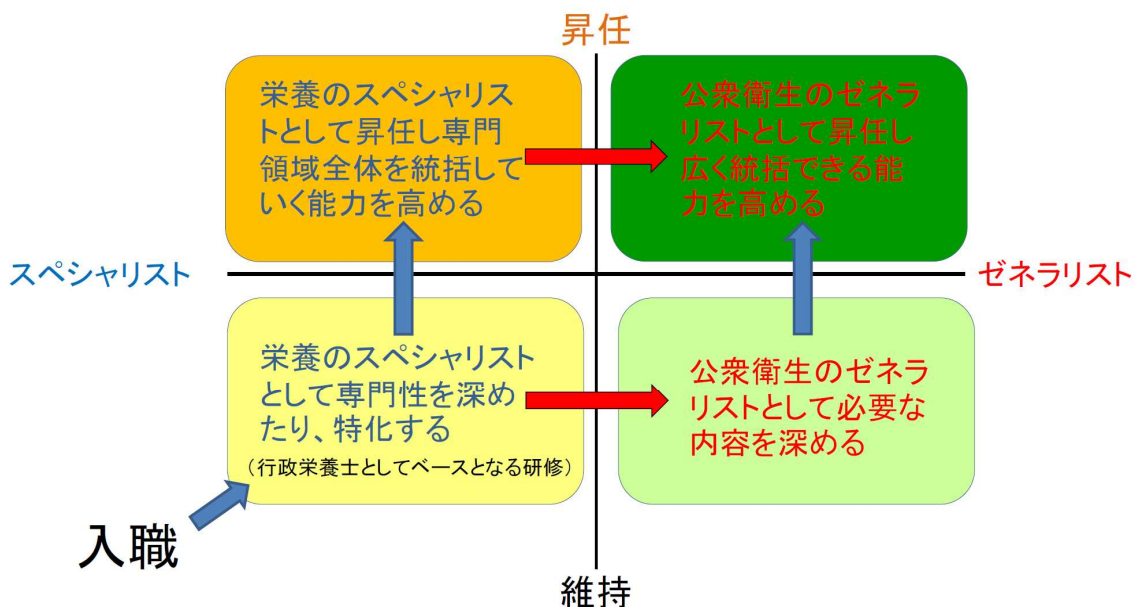


別紙資料 2

これまでの調査・検討から勘案した 10年後を見据えた新しい自治体管理栄養士養成プログラムのアウトライン (現状における概念の整理)

研究代表者 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 由田克士
 研究分担者 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科 田中和美
 研究分担者 千葉県立保健医療大学 荒井裕介
 研究分担者 静岡県立大学 食品栄養科学部 栄養生命科学科 串田 修
 研究分担者 青森県立保健大学 健康科学部 小山達也
 研究分担者 金沢大学大学院 医薬保健研究域 岡本 理恵
 研究分担者 愛知県瀬戸保健所 澁谷いづみ
 研究協力者 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科 飯田 綾香
 研究協力者 新潟県新津保健所 磯部 澄枝
 研究協力者 兵庫県健康福祉部 諸岡 歩

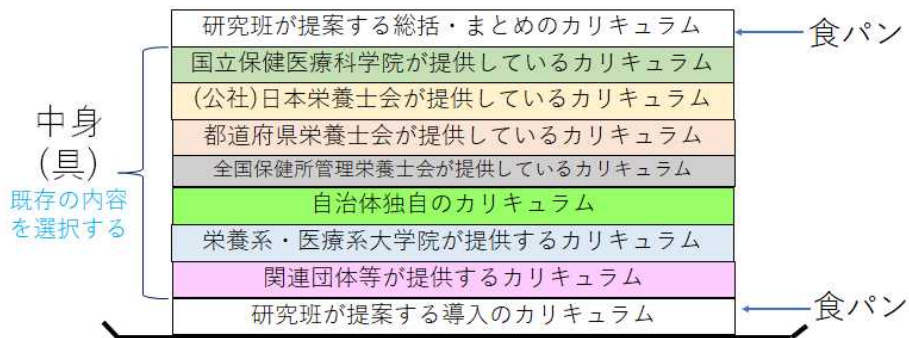
目指す方向性に応じた人材育成プログラム設定の考え方



行政栄養士の人材育成の方向性(内容の整理)

	昇任	
スペシャリスト	<ul style="list-style-type: none"> 公衆栄養、栄養行政に関する広い見識と知識 専門的業務の統括 他職種に対する専門性のアピール力 	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生、衛生行政に関する広い見識と知識 全般的業務の統括 他職種との駆け引き・切磋琢磨 予算権、人事権
	維持	ゼネラリスト
	<ul style="list-style-type: none"> 公衆栄養、栄養行政に関する見識と知識 専門的業務のスキルアップ 他職種との専門性の違いを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生、衛生行政に関する見識と知識 全般的業務を担当する広い視野 他職種との協働・連携 根回し力、理詰め力の育成

研究班の調査で得られた問題点を導入と総括・まとめで対応し、既存のカリキュラムを選択しサンドイッチする



人材育成プログラムを立案するためのポイントの整理

- 本人が望む方向性によって、学ぶべき内容は必然的に異なる。
→**スペシャリスト**と**ゼネラリスト**
→係員、監督職、管理職
- 行政栄養士が**自信を持って日々の業務を担える**ようにするための育成プログラムの設定(**自己効力感を高めるプログラム**)。
- 既存の認定資格制度や大学院等への進学によるスキルアップとは別に、個人が特定の研修プログラムを受講し学習したことを**第三者機関が目に見える形で証明できる仕組み**の構築も検討する。
- 各種団体、研修機関、大学等が提供しているプログラムを有効に活用・連携する。**
- Web等を活用した**遠隔研修プログラム**も設定する。

表1 研修実施機関・団体等と分野別に整理した具体的な新しい自治体管理栄養士養成プログラム（新任期）現状での整理

ねらい：実務の中で指導を受け、基礎知識と技術を身につける。

	研究班	生活の質の向上（個人ライフステージ）			社会環境の質の向上				
		母子	成人	高齢者	健康増進計画 食育推進計画等	地区組織	健康危機管理	食環境づくり	給食施設指導 （市町村除く）
実施機関・団体等									
研究班が提案する総括・まとめ	自己効力感を持って業務を遂行するために								
国立保健医療科学院		特に新任期に特化した研修会は実施していない。							
日本栄養士会		事例報告（乳幼児健診、食育など）	事例報告（生活習慣病重症化予防など）	事例報告（高齢部門配置栄養士からの報告）	国の栄養施策の動向（栄養指導室係長）		JDA-DATの活動	事例報告（飲食店ヘルシーメニューなど）	事例報告（給食施設指導）
都道府県栄養士会		公衆衛生職域の新任期に特化した研修会を実施している県は少ない。医療、福祉など他職域との合同の新任期栄養士相談窓口などを設けている県はあり。JDA-DATスタッフ研修（県単単位あり）							
全国保健所管理栄養士会		保健所管理栄養士（都道府県・保健所設置市・特別区）が対象、新任期に特化した研修会は開催していない。							
自治体独自		都道府県本庁栄養主管課、あるいは県栄養士会に委託し、研修会を実施。健康増進計画やPDCAに基づく施策展開等に関する研修が多い。地区組織育成強化研修は都道府県単単位で実施							
栄養系・医療系大学院					易しい栄養夜学、アンケート調査方法				
関連団体等（母子愛育会など）		母子保健							
研究班が提案する導入	オリエンテーション 目指す姿に到達するためのキャリアパスの描き方（研修受講方法）								

**表2 研修実施機関・団体等と分野別に整理した具体的な新しい自治体管理栄養士養成プログラム（中堅期・リーダー期）
現状での整理**

ねらい：中堅期 自立した専門職として業務を実践し、成果をまとめる。 リーダー期：上司を補佐し、ジェネラリストとしてスキルを磨く
⇒地域を理解し、社会資源の開発・活用する能力

	研究班	個別の課題	政策能力向上（個別課題を地域の課題へ）			
		ライフステージ (母子・成人・高齢者)	政策論（EBPM）	データヘルス (KDB)	健康増進計画 食育推進計画	健康危機管理
実施機関・団体等						
研究班が提案する総括・まとめ	政策能力を高めるために			国保中央会		
国立保健医療科学院					計画評価、策定	DHEAT（基礎・高度研修）
日本栄養士会（実務研修）		事例報告	事例報告	データの活用方法	事例報告	JDADATリーダー研修
都道府県栄養士会						
全国保健所管理栄養士会			政策能力向上シンポジウム、スキルアップ研修			
自治体独自		全体研修（地域課題やニーズに応じて研修組み立て）				
栄養系・医療系大学			公衆栄養学特論、栄養疫学			
関連団体等						
研究班が提案する導入	オリエンテーション 目指す姿に到達するためのキャリアパスの描き方（研修受講方法）					

大学の科目履修生制度

※政策論のところをどこまで深掘りするかも要検討

**表3 研修実施機関・団体等と分野別に整理した具体的な新しい自治体管理栄養士養成プログラム（リーダー期（管理職））
現状での整理**

ねらい：組織の成果を上げるためのマネジメントを行う

⇒自治体の上位計画を見据え、政策化する能力（人、モノ、お金、情報を管理する能力）

高度な連携・調整を行う能力

新たにプログラム開発検証

	研究班	人材育成	組織論 (行革、人員配置)	打ち込み論 対外交渉論 ネゴシエーション 横断的な連携
実施機関・団体等				
研究班が提案する総括・まとめ		後進育成、自己効力感を高める手立てを含む	行政関係者	行政関係者
栄養系・医療系大学院				
関連団体等				
研究班が提案する導入				